

会 議 録

件 名	柱本小学校と三石小学校の再編統合計画に関する説明会・意見交換会（バス等の通学支援）（柱本小学校保護者）
日 時	令和8年7月11日（土）午後7：00から午後8時15分まで
場 所	紀見北地区公民館
参加者	保護者 12名（家庭数 11） 岡教育部長、阪口参事、家田学校再編推進室長、棚田学校再編推進室長補佐、南指導主事、東主任、今山主任

資料説明の後、質疑応答、意見交換になりました。

本説明で出された意見等は、以下のとおりです。

1－1．林間田園都市駅ロータリーから三石小学校にさせていただいて本当に安心できるな
って思っています。気になったことがいくつかあるので教えていただけたらと思います。
紀見ヶ丘に住んでいるんですけど、光陽台の方は座席指定が特になくても乗れるのかなと
感じたんですけど、紀見ヶ丘は人数が多いみたいなので、座席指定が必要なのでしょうか。
朝早く乗りますって言ってて、乗れなかった場合どうなるのか教えていただきたいです。

（教育委員会）

紀見ヶ丘ルートですが、停留場を三石小学校にするとところで、バスのサイズに制約が発生
してきています。朝の便は2便ということで、合計すると全員乗ってもらえる形になってる
んですけども、これは再編を決定した後、保護者さんや学校と別途協議させていただきた
いと思ってるんですけども、一定の調整は必要になると考えています。朝は少なくともそう
いった調整必要と考えています。

1－2．乗れなくて、ちょうどいい路線バスがあつて、それで駅のロータリーから歩いてい
くのも可能なのか、その際に発生する料金もどうなのかなって思いました。

（教育委員会）

もし、そうなったときに路線バスを活用されて料金が発生するということについては、
市負担は想定してないのが正直なところです。

1－3．自己負担でバスに乗っていくのは可能ですか。

（教育委員会）

具体的な回答は持ち合わせてないというのが正直なところですけども、そういったこ
とも今後話しをしていきたいと思います。

1－4. QRコードでアプリを利用と書いてあるんですけど、それはどういったものなんですか。子供がICタグみたいなものを持ってバスに乗るんですか。

(教育委員会)

去年、隅田小学校で試行させていただいて、それを踏まえて課題の洗い出しなどを行い、本格的なものを入れていく準備を進めています。お子さん一人一人のQRを作って、それを持ってピットかざしたら、誰々がバスに乗ったという情報を保護者に飛ばす形のシステムになります。QRはお子様ごとに作成し、利用してもらうことになります。

1－5. うちのこは水泳カードをなくすっていうのが頻繁にあるんですけど。バスで無くした場合はどうなりますか。

(教育委員会)

カードを無くした場合には、保護者に乗ったという情報が飛ばないことにはなりますが、バスには乗っていただけます。また、再発行もできるのでご安心いただけたらと思います。

2. 光陽台に住んでるんですけども、紀見ヶ丘で習い事をしたりとかがありまして、今は小学校から直接習い事に行って、家に帰ってこないという形をとらせてもらってるんですけども、三石小学校から帰りのルートになった場合に、光陽台ルートで帰らないといけいいのか、紀見ヶ丘ルートに変更は可能なのかがちょっと気になります。

(教育委員会)

まずシステムについては、現段階では行きと帰りのルートが違ってても保護者にその情報が届く仕様で進めていきたいと考えています。また、光陽台ルート、紀見ヶ丘ルートともに、乗車数にそんなに余裕がないので、行きと帰りの便を変えることは絶対駄目っていう話ではないんですけど、すべてかないますというのも今の段階では言えないような状況になっています。実際の具体的な話は再編決定後に協議させてもらえたらと思っています。

3－1. 点あります。11ページの3番に、地域の方の理解が不可欠ですとありますが、どのタイミングでお話していただくのか。また、理解がえられなかった場合、どうしていくのかというのは、今の段階から決めていただけてるんでしょうか。

(教育委員会)

今回、三石小学校まで行く案をまずは柱本小学校の保護者さんにお伝えすべきと考え、今日の説明会を行っています。この説明で一定了承いただける、ご理解いただけることであれば、今後、三石小学校や地域の皆さんにも説明させていただいて、ご理解いただくことを進めていきたいと考えているところです。

再編直前には、柱本小学校、三石小学校の住民への情報発信なども検討する必要がありますが、次の説明会で地域住民の方にもお話することで考えています。そのほか、必要に応じて区長さんなどにも個別でお話させていただくなど、こちらの方で随時説明を進めていき

たいと考えているところです。

理解がえられなかったらというのは、今のところあまり想定はしていませんけれども、丁寧の説明させていただきながら進めていきたいと考えているところです。

3-2. もう1点いいですか。17ページの光陽台のルートで、3番の光陽台東を利用する家庭なんですけど、ここの停留所だけこの敷地に入ってきて車を駐車する一般の方が発生するじゃないですか。他のルートでは左側通行の車を通る側に立って待ってる、降りるっていう形だと思うんですけど、ここは駐車場の一部なので、一般の方がどこに止めるかわからない状態じゃないですか。このゾーンには立ち入らないみたいな線とか引いてもらえたりするんですか。子供がここで立って待ちますみたいなゾーンを作って欲しいと思うんです。

(教育委員会)

駐車場のこの辺で適当に待つという形ではなく、病院の利用者、デマンドの利用者がいる中でも、安心して乗り降りできるようにエリア設定する必要があると考えています。病院の利用者との住み分けなども配慮しながら、病院にも相談させてもらいながら、乗降するエリアの詳細を決めていきたいと思っています。

3-3. そうなってくるとこの医院の方に理解をえられて、相談して決定して、一般のお客さんにはどういうふうに説明していくんですか。停留所はこういうふうに決まりました、こういう場所が増えましたというのはどうしていかれるんですか。駐車場内をどう運転するかは、その人次第だと思うので心配があるんです。

(教育委員会)

医院とお話もさしてもらわないといけないと思うんですけども、例えば子供たちが待つエリアが、医院にも支障がなく、子供の安全確保は大丈夫なんじゃないかっていうエリアが決まってきましたら、患者さんの車などにも協力いただけるようにお話をしないといけないと思っています。やっぱりバスっていうことになると、通常の乗用車みたいな動き方も当然できませんので、バスが転回できるようにですとか、子供の安全上の面から、そこも含めて、使わせていただくお話をさせていただきたいと考えています。

4-1. 紀見ヶ丘なんですけど、もし帰りのルート有的时候に、数人しか乗っていないとかなったときに、特にうちの子はここで降りたいとか、自分で言えないこととかがあるんですけど、全部の停留所で1回1回止まってくれるんですか。

(教育委員会)

基本的には全部の停留所で止まると考えています。

5－1. 紀見ヶ丘ルートで乗るんですけど、まだ行きの時間とか帰りの時間は決まっては
ないと思うんですけど。朝7時30分発に乗るのに合わせて家から出るじゃないですか。け
ど紀見ヶ丘からは人が多いから、1回で乗れないじゃないですか。そうなったときに、次、
8時の来るから待っててみたいなことにはなるんですか。もしそういうときに、バスにち
ゃんと乗るまで見届ける人もおれば、ちょっと仕事の都合上ずっと見れないみたいなこと
もあるんですけどそういうときってどうなりますか。

(教育委員会)

資料10 ページご覧ください。先ほどもちょっとお伝えしたんですけども、バスのサイ
ズの制約があるので、再編決定後にはなるんですけども、特に朝、どの便に乗るとい
うのは一定調整する必要があると思っています。あと、もう1点見守りというか、乗
り遅れたときの不安とか、そういったところになると思うんですけど、今も見守りして
くれている方がいらっしやったりすると思います。停留所の見守りがどんな形になる
かっていうのは、今後地域の方、保護者の方と話をしないといけないと思っています。

5－2. それに伴ってなんですけど、朝は親が学校まで送ります。帰りはバスで帰ります
というときもアプリは活用できるんですか。朝は車で親が送っていくけど帰りはバスに
乗りますってなることもあるやろうし、もしかしたらその日は親が送り迎えしますとい
うこともあるかと思うんですけど、そうなったときの学校との連絡方法とかもありますか。

(教育委員会)

保護者が学校まで送迎されるパターンと、バスに乗られるパターンあると思いますが、
各家庭の状況でどちらでしていただいても大丈夫です。

6－1. 矢倉脇の保護者です。バスの場合は、運行アプリを使って安全対策講じられて
いて、本当に安心できると思いました。電車も可とあるんですけど、やはり電車の場合
はそれに比べて運転手にアプリを出すわけにはいかないし、少しリスクがあるかなと思
います。そういうことで、やっぱりバスを利用したいと思うんですけど。17ページの
地図ですね。①もしくは②とあるんですけど、②というのは光陽台の一番てっぺん
になるんですね。矢倉脇からそこまでは一山越えて、木々の中を、家のない中を1
人で歩いていくんです。少しリスクが大きい。そしてまた、①まではちょっと遠
いんですね。そう考えたら、できれば紀伊見荘の下ぐらい、一番いいのは矢倉
脇の中を南北にマイクロバスで通っていただいたら一番いいんですけど、それが
できないとあれば、紀伊見荘までは観光バスはいつも来てUターンして、お客
さんを乗せた観光バス止まっています。大型の免許持ってるのであれば、そんな
ことは簡単なことだと思いますんで、できれば途中までサフランという喫茶店の
あたり、駅の前の端のあたり、できなければ紀伊見荘の下ぐらいまでマイクロバス
を来ていただいたら、安心できるかなと思いますんで、1つ考えていただいたら
ありがたいと思います。

(教育委員会)

矢倉脇、特に紀伊見荘前で子供たちを乗せられないかということについては、バス事業者さんとも現場確認してきました。マイクロであれば、光陽台の方から入ってきて、一旦バスの後部を紀伊見荘に突っ込んで転回することはできるんですけども、紀伊見荘さんが営業されていることや、あとは紀伊見荘側にバスを入れると、運転手から道路の見通しが悪くなる。加えて、子供らが待つ場所として、ちょっと道が膨らんだところもあるんですけど、車が停車されてたりもするのを、現地確認する中で確認しているので、安全確保の点で言うと、どこで待つかの問題もあると思っています。運転手さんだけでいうとやっぱり死角もあるので、例えば添乗員がいたら、後ろも確認しながら転回できるんですけども、子供たちだけで365日6年間の回数になってくると、かなり高い安全性が必要になってくる。ちょっと今のところ難しいかなって考えています。

矢倉脇の中に停留所を作るのであれば、どこかで転回するのかじゃなくて、通り抜けしていく。その形だったらできると思うんですけども、やっぱり対向する車が来たときに、バックせざるをえないとか、そういった状況になってくるっていうところがあって、地域の理解とかもかなりハードルが高いようなことを思ったり、実際の交通支障についても、それも365日毎日通るバスがそこに入っていいのかというところがあって、課題があるっていうところになっています。大分検討したんですけども、ちょっとお示しした停留所を基本にしたいのと、今のところ考えています。ただ、これは決定事項ではなくて、お話は今後必要と思っています。

6-2. 中を通る方がUターンしなくていいので、地域住民の理解は十分えられると思います。私からまた申し添えます。できれば考えていただいたらありがたいです。

7-1. いつも走ってるバスは雪の日とかでも走ってくれてるけど、マイクロバスは雪降った日でも走ってくれますか。

(教育委員会)

この辺、年1回、2回雪が降る地域になるんですけども、バス事業者には、これまでの雪のときとかも運行が止まったことはないと聞いていますので、基本的は走れると考えています。

8-1. 私も矢倉脇の方から質問いただいております、さっきおっしゃっていたように紀見峠の方まで来ていただくことはできないのかっていうのは、多分矢倉脇の児童を持つ親もその地域の方々もずっと強く思っていることだと思うんです。安全面とかも確におっしゃる通りだと思うんですが、今回ロータリーやったところを三石小学校に変えていただいたということもあるので、またちょっと頑張っていただけたらと思います。

あともう1つ、矢倉脇の方からなんですけど、運行がスタートした後からも状況に応じて

随時ルートの変更など対応をする場合もありえますか。

(教育委員会)

運行始めてからのルート変更や、停留所の場所を変えるのは結構ハードルが高くて、基本的には安全対策なども必要だったらしていく必要があると考えてまして、そういったこともあるので、停留所やルートの変更は、基本的にはなかなか難しいところがあるので、事前に各地域の地区の方々としっかりお話するっていう形で対応をとりたいと思っています。

9-1. 遠足や一斉下校のときも年に何回かあるんです。その時にマイクロバス 27 人定員の場合、1 日 3 便出していただくとは書いてあるんですけど、もしその一斉下校のときになったときはどういうふうにバスの運行を考えていらっしゃるでしょうか。

(教育委員会)

まず時刻については、毎日同じ時刻で走るのではなくて、一斉下校とか、水曜日については全員 5 限目で終わってしまうみたいな日もあるんで、曜日やイベントに合わせた運行をします。あと 1 台に全員が乗れじゃないんじゃないかっていうところについては、どうしても課題として残ってきまして、バスが 1 周回って帰ってくるのを待たざるをえないみたいな話は出てくるかもしれません。

9-2. そうなんですね。一斉下校の場合は 1 便に乘れなくて一回行って戻ってきたのに乗って帰るっていうことをもあり得るということでもわかりました。それと紀見ヶ丘ルートで慶賀野も一応想定地区に入っているじゃないですか。マクドナルドからちょっと紀見ヶ丘向きに歩いてきたところぐらいに、バスの停留所を作っていただくんだと思うんですけど、ちょうどマクドナルド付近に住んでる子たちは 1 キロないと思うんですよ。ここが停留所なんやったら多分その子らも乗れるとは思いますが、もしその子たちが乗りたいって言った場合は、その子たちも入れてくれるんですか。

(教育委員会)

はい。対象になります。

9-3. 対象になるんですけど、もうどれだけ近くても柱本のこのルートの想定地区に入ってる子達はみんな乗れると思っといういいですか。

(教育委員会)

個別の家ごとに学校までの距離を測るのではなくて、字を単位とした一定エリアごとに対象か対象じゃないか決めていく、だから 2 キロというのも絶対ではなくて、概ね 2 キロというふうに設定させてもらっています。実際バスをこちらに走らせるので、乗りたいというお子さんがいらっしゃったら、指定の停留所で乗ってもらえると考えています。

9-4. あとちなみになんですけど矢倉脇の児童は再編後何名ぐらいになるんですか。

(教育委員会)

令和 14 年度までの推計でいうと大体 3、4 名です。資料 17 ページの左下をご覧くださいけたらと思います。

9-5. 支援学級に関することなんですけど、再編統合するにあたって学校が保護者と面談を行うと書いてあるんですが、入学するまでに最低でも 1 年以上はじっくり親も学校もいろいろ面談を重ねていろんなことが決まっていくなと思うんです。今、柱本小学校に通ってる子が三石小学校に移ろうかってなったときに、早速話を始めて欲しいと思ってるんですが、できるだけ早いほうがいいと思って。その目途っていつぐらいかとか教えてもらえますか。

(教育委員会)

おっしゃる通りだと思います。今再編まで 3 年間あるんですけども、きちっとこれが決まっていけば、決まり次第そういうお話を随時学校間で進めていくと思っています。

9-6. 決まり次第というのは、前の説明会のときにこれが最終決定するのは今年度中やというふうに伺っていたんですけど、決まり次第というのは、今年度中に決まって、来年度以降ということで思っというたらいいですか。早くても 2 年前ぐらいからの面談になるだろうなと想定なんでしょうか。

(教育委員会)

再編が決まったらそれぞれの学校でお話をして、対象の児童のことも進めていくような話になっていくかと思っています。個別のいろんな事情もあるとは思いますが、再編のすぐ前ではなくて、事前に何度もそういう情報共有もしながらいくということなので、そこはご安心ししていただけたらと思っています。

9-7. 今の段階では個別に大体、どの家庭が学級に通っててとか、どの家庭がどの園に通っててっていうのは把握されてると思うんです。そういった保護者の方に対して、市の方から声かけだったり、こういう大きな説明会でなくても、何かそういう説明の機会を持たれていらっしゃると思いますか。

(教育委員会)

1 回目の説明会の後、こちらからコンタクトという形はとってないんですけども、今後 2 回目の説明会を控えていますし、あと就学相談ということで、来年度入学するお子さんについての相談が始まるので、その準備を進めているところでもあるので、そういった機会をとらまえて、通学の話とか、学校が変わる話などについて、随時、教育委員会の方で保護者さんとお話させていただくような形でお伝えしたいと思います。

10-1. 小学校3年生と1年生の保護者です。柱本に住んでいます。ちょっと時間も迫ってるんですけどもいくつかありまして、先ほどの説明の中で添乗員がいればということもあったんですが、添乗員はつかない想定で進んでいるのでしょうか。これを添乗員が1人ついて乗り降りの確認をしたりだとか、先ほどの方向転換の際に確認するとかっていう想定はあるのでしょうか。

(教育委員会)

添乗員については、今のところ想定はしていません。

10-2. 乗降の際、或いは発車する際が一番怖いんじゃないのか、リスクがあるんじゃないのかなと思ってるんですけども。それを、我々も自分の子供だから見送る、地域のボランティアの人にもお願いをするのもわかるんですけども。それをみんなができればいいんですが、多分、それができないご家庭もあると思いますし、仮にできない日があれば、それはもう子供たちを見れないことになってしまうので、周りの目が、持てない場合があるっていうことを無くすためにも、誰か1人雇ってでもそこに1人つけるとか、そういう視点も入れていただけないかなと思います。

地域のボランティアでできたらいいと思うんですけども、それができうるのか、できない場合がなかろうかっていう検討もぜひしていただいた上で、もし見れない時間帯や日があるのであれば、雇ってでも人の目をつけて欲しいなっていうのを思っております。それからアプリですね。QRコードで情報の確認ということについても、私はちょっとアナログな方の考えであるせいかもしれないんですけども、やはり機器にも不備が出てくると思いますし、人もエラーもするので、どっちかに頼るというよりかやっぱり併用した上で、確実に子供が行って帰ってくるっていう、交通事故のリスクまでは減らせないと思いますけど、発車の際に、子供が巻き込まれることはもう絶対になくなるような体制にしてみたいという思いです。アプリがあれば大丈夫というスタンスではなく、確実にダブルチェック、トリプルチェックできるように体制を整えて欲しい。その上で保護者、周囲ができることが何で、できない部分はこうだからじゃそこはお金で解決しようというような形でできないかというふうに思ってます。意見です。

あとですね、今回バスの運行で子供が安全に乗り降りできたとしたら、保護者も安心だということではあるんですけども、その子供の発達面で2キロ歩いてたものがなくなってしまう意味では運動量が落ちるんですよ。体の面でもそうだし、或いは歩く登下校の時間も貴重だと思ってて、誰かと会った何か見たっていうようなことが一定量あったのがなくなると思うんです。だからそこをどこで補っていくのかっていうのが、学校のカリキュラムの中で解決できるのか、或いはこういうことをしていく運動会を地域にも開けるようにするとか、それが子供たちの運動不足だったり、いろんな人と関わって地域で育てていくっていうことも、そういう点も養われていって欲しいなという思いがあります。

今まで通りの進め方だったら多分もう失ったままなんじゃないかなって危惧してます。だ

からこそ学校の新しい取組として、統合したからスクールバスを使うようになったから、こういう新しい取組をしていこうみたいな流れができたらいいなって、それが地域と一緒に盛り上げていくみたいになれたら、子供たちも健やかに育っていくんじゃないのかなって考えています。

最後なんですけど、半分冗談なんですけど、バスの無人運転の試運転には使われませんよね。無いのは分かってるんですけど、今後もその試運転という段階で、それに子供を使って欲しくないという思いで、お答えいただきたいと思ってます。

(教育委員会)

無人のバスというかそういうのに乗せる考えはないです。今もそうなんですけども、バス事業者をお願いしようと考えていますのは、運転手が大型免許持ってるんですけども、お客様を乗せる2種免許を持ってる、いわゆるそのお客さんを乗せてバスを運行した実績がある運転手にスクールバスの運転をお願いしていくのをすごく大事なことを考えていますので、無人のバスというのは考えておりません。

10-3. スクールバスの運転手は、紀見ヶ丘・光陽台ルートスクールバス専属の運転手さんと思っというたらいいいですか。南海りんかんバスなどの事業者さんに雇われてる運転手さんではなくて、市で雇っているスクールバス専属の運転手と思っというたらいいいんでしょうか。

(教育委員会)

スクールバスの運行については、どこのバス事業者に受注いただくかまだわからないんですけども、運転手さんも受注いただいたバス事業者に確保していただくことになります。

10-4. あとスクールバスは他の一般の利用者は乗らないと思っというたらいいいですか。一般の利用者も同じように利用するバスではないですよ。

(教育委員会)

よその自治体で言うと、一般のお客さんも乗るスクールバスが徐々に出てきてるんですけども、そういったことは橋本市では考えていません。子供たち専用のバスと考えています。